

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970101311
法人名	株式会社 アイ・エム・シー
事業所名	グループホーム くろしおセゾン薊野
訪問調査日	平成 19年 9月 26日
評価確定日	平成 20年 2月 5日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 2007年10月8日

【評価実施概要】

事業所番号	3970101311		
法人名	株式会社 アイ・エム・シー		
事業所名	グループホーム くろしおセゾン薊野		
所在地 (電話番号)	高知市薊野東町2-10 (電話)088-803-1177		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年9月26日	評価確定日	平成20年2月5日

【情報提供票より】(H・19年 8月 1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 15年 12月 1日
ユニット数	3 ユニット 利用定員数計 27人
職員数	22人 常勤21人, 非常勤1人, 常勤換算21.6人

(2)建物概要

建物形態	併設/ <u>単独</u>	<u>新築</u> 改築
建物構造	鉄骨造り	
	3階建ての	1階 ~ 3階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	56,000円	その他の経費(月額)	29,000円	
敷金	有(円)	<u>無</u>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300円	昼食	500円
	夕食	500円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(8月1日現在)

利用者人数	27名	男性	4名	女性	23名
要介護1	5名	要介護2	11名		
要介護3	7名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 83.8歳	最低	75歳	最高	97歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	ネクストホームクリニック、ハートフルクリニック、山本歯科
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近くに田んぼがあり、閑静な場所にある事業所である。庭の一角には畑があり、入居者にとって作物の成長と収穫を楽しむ場所になっている。入り口に自動販売機が設置され、利用者だけでなく近所の人々の利用もある。また交流ホールで行われるいきいき百歳体操と共に、地域に根ざしたホームを目指しているのが窺える。玄関には椅子が設置され、利用者がタバコを吸ってくつろいでいる様子を見て、理念に或る“常にその人らしさを追求する”という言葉が浮かんできた。若い職員のケアと共に、開設当初の職員の熱意が伝わってくる。利用者がその人らしくあり続けるケアを目指しているのが分かる事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の改善課題のうち、注意の必要な物品の保管、介護計画などは改善していた。また、個別日誌の書き方、生活歴の把握など工夫の跡が見られた。行政との関わりは、今回の自己評価でも取り上げられていたが、今後も引き続き、取り組む必要のある課題である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 改善計画シートを作成し、できるところから取り組んでいこうとする姿勢が窺えた。今後も職員が改善課題を意識して、取り組みを続ける事を期待する。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) おおむね2ヵ月に1回は開催し、利用者の参加を促すなどの取り組みを期待する。また災害訓練に地域住民の参加、協力をお願いするなどの課題解決が望まれる。現在の事業所からの報告だけでなく、参加者との活発な意見交換がされる事を期待する。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 面会者は多い。訪問しやすく、相談しやすい雰囲気作りはできている。また、家族会も職員の働きかけで開催している。現状での苦情はないが、家族はお世話になっているというだけで、遠慮するので、家族の心情を汲み取って、今以上にきめ細かい対応を心がける事を望む。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 交流ホールがあり、毎週水曜日に10~15人地域の方が参加し、利用者と一緒にいきいき百歳体操を開催している。また町内一斉清掃に参加したり、地域の行事に参加しようという情報収集したりして、地域との連携を大切にする様子が窺える。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である 〔「地域の方々との交流を大切に考えます。」という基本方針である。〕	○	法人全体の理念があるが、ホーム独自の理念がない。現在、ホーム独自の理念を検討しているので、早期に理念をつくることを望む。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔毎朝のミーティングで復唱し、理念の共有化をはかり、日々のケアで実践しようとする様子が窺える。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。 〔理念にある“その人らしさ”の意味を職員は理解しており、サービス提供場面において、実践しようとする努力がみられる。〕		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔町内の一斉清掃に参加したり、事業所の交流ホールを開放し、週1回水曜日に地域の方、利用者合同で、いきいき百歳体操をし地域との交流をはかっている。〕		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔自己評価についてフロア長会で話し合い、月1回の各ユニット毎のフロア会で職員に投げかけ、全員の意見が聞けるよう配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔今回の自己評価で見出された課題について、改善計画シートを作成し改善に向けての取り組みをしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔現時点では、事業所からの報告にとどまることが多く、活発な意見交換に至っていないようだが、双方向的な会議になるよう配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔課題の報告はされており、改善に向けた取り組みも行っている。〕		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔現時点では、運営推進会議以外に行政との接点がない。〕	○	行政との連携は今後の課題であるが、こちらから出向き、まずは事業所の様子を伝えるなど、積極的にアプローチしていく事が望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔家族の来訪時に声かけなどをし、訪問しやすい雰囲気作りができています。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔2か月に1回、「フロア通信」を発行し、また、個別に写真を添えたお便りなどを送り、暮らしぶりが伝わるよう取り組んでいる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔電話などで報告している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔金銭出納帳に確認のサインがあり、領収書を渡しそのコピーも保存している。〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔家族会を開催したり、個別面談を行ったりと家族の意見を聞く仕組みがある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>[法人全体の定期異動が半年に1回あり、異動回数は多い。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>[1ヵ月間の引き継ぎ期間を取るなど配慮している。]</p>	○	利用者にとって、本人の様子をよく理解している、馴染みの職員の継続的な支援は大切である。異動により利用者へダメージを与えることもあるので、必要最小限に抑える努力が望まれる。またユニット長の交代は電話や家族の面会時に知らせているようだが、職員の異動なども家族に知らせる等の配慮を望む。
5. 人材の育成と支援						
	10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>[研修参加の機会はある。今年度は特養、他の事業所への実習、見学の計画がある。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>[研修の報告書があり、フロア会などで報告をしている。]</p>		
	11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>[]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>[法人内の事業所合同の勉強会を開催している。また外部の事業所に見学に行く予定があり、同業者との交流を深める努力も見られる。]</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
	12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。</p> <p>[]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>[本人、家族の見学は積極的に受けいれている。]</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。</p> <p>[管理者、フロア長が面接している。また職員からは利用者等の見学の時どうだったかななどの意見も聞いている。]</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔利用者の状態に合わせて、その人のできる事を大切に支援をしている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔洗濯物たたみ、庭の畑での野菜作り、食器洗いなど、本人のできる事を大切に、職員と協働しながら生活する場面作りがある。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔季節の行事、畑作り、裁縫など、入居者から教わる場面がある。〕</p>		
<p>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔アセスメントや、年代別に生活歴が把握できるシートの活用などにより、意向の把握に努めている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔 〕</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔平均週1回は家族の面会があるので、面会時や電話連絡などで意見、要望などを反映した介護計画が作成されている。また、確認のサインもあった。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔職員の担当制をとり、月1回のフロア会で意見交換、カンファレンスを行っている。〕</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔 〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔 〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔退院後の即時見直し、その後の状態変化に応じた見直しなど、個別の期間設定ができています。〕</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<input type="radio"/> 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 [往診の活用や、職員に看護師がいるので、医療処置を受けながら生活もできる体制を整えている。] <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 [以前、重度化した場合のケアの提供事例もあり、体制はできている。] <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 []		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<input type="radio"/> かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができている。 [希望の医療機関で受診している。また、2週に1回の内科医の往診、週1回の歯科医による口腔ケアなどもある。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 [定期受診は原則家族同行であるが、状況に応じての対応ができている。] <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができている。 [検査結果の記録、受診の報告など個別日誌の中に保管している。]		
19	47	<input type="radio"/> 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 [終末期の指針があり、契約時に家族に説明をしている。また必要に応じて家族、医師、看護師を交えての話し合いをしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 []		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔尊厳を損なうようなケアは行われていない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔ミーティング、フロア会などでプライバシーの保護について話している。〕 <input type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔全ての職員まで徹底できていない。〕	○	個人情報保護法に関するマニュアルが作成されていないので作成を望む。また個人情報保護法に関する勉強会を開催して、職員の理解を深めることも期待する。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔近くのコンビニにタバコを買いに行かれる利用者の方に同行したり、散歩をしたい方の同行など、利用者のしたいことの把握に努めそれに応じようとする努力が窺える。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔朝起きるのが遅い方には、朝食の時間を少しずらした対応をするなど、利用者のペースに合わせた支援をしている。〕		
(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔野菜を切ったり食事の下ごしらえをする方、また下膳をし食器洗いをする方など、その方の状態に合わせた支援をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助に止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔1人の職員が同じテーブルで一緒に食事をし、他の職員は介助の必要な方の介助に回るなど、役割分担ができています。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔入浴拒否の方にも時間をずらしての誘導や、職員が交代しての誘導など、工夫をして対応している。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔牛乳、青汁、新聞取り、めだかの餌やりなど役割分担があり、その人の楽しみや役割の把握に努めている様子が窺える。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔裁縫が得意な利用者のいらっしゃるフロアでは、共同で作品作りをし、オールドバフ一展に出品して賞をもらったり、お花の好きな方に生け花クラブで、フロアにお花を活けていただくなど、各場面作りができています。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔月1回の、メイクボランティアによるお化粧。また獣医の協力によるアニマルセラピーを試みる。職員によるギター演奏など働きかけを行っている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔シルバーカー、車椅子使用で外出支援をしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔みかん狩りや季節に応じた花見、月1回のドライブや外食など、外出の機会を作る努力をしている。〕		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔近所の人に出会う前に職員が気づくことが多いので、今までに連絡を受けた等の事例はないが、理解を求める努力はしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔消火器の設置などはある。〕	○	今後、運営推進会議などを活用して、地域住民の参加、協力の検討が望まれる。また非常食など早期の備蓄が求められる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔チェック表により把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔メニューは栄養士によるが、利用者の状態に応じて臨機応変に変える事もある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔仕入れ業者の栄養士がメニューやカロリー計算をしている。〕		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔家庭で使用されていた家具が配置され、馴染みのある共用空間になっている。昔のはりまや橋近辺の写真が飾られたりと懐かしい雰囲気作りがなされている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔 〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔各居室とも、本人がそこに暮らしていることが実感せきる居室作りになっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔 〕		